

RENESAS TECHNICAL UPDATE

〒211-8668 神奈川県川崎市中原区下沼部 1753

ルネサス エレクトロニクス株式会社

問合せ窓口 <http://japan.renesas.com/contact/>E-mail: csc@renesas.com

製品分類	MPU & MCU	発行番号	TN-RL*-A014A/J	Rev.	1版
題名	RL78/G1C 制限事項について		情報分類	技術情報	
適用製品	RL78/G1C R5F10JxxA, R5F10JxxG, R5F10KxxA, R5F10KxxG (詳細の品名については別紙 1 制限事項対象製品 品名一覧を参照)	対象ロット等	関連資料	RL78/G1C ユーザーズマニュアル ハードウェア編 Rev. 1.00 R01UH0348JJ0100 (Jun. 2013)	
		全ロット			

上記適用製品において、データフラッシュ機能読み出し制限事項がございます。

1. 制限事項について

【対象の使用方法】

使用方法が下記の①～③の全てにあてはまる場合、下記制限の対象となります。

- ① データフラッシュと DMA を使用している。
- ② データフラッシュの読み出し時^{注1}に DMA が動作している。
- ③ 弊社が提供している EEL (EEPROM エミュレーションライブラリ)^{注1}Pack01 V1.12 以前または、FDL (データフラッシュライブラリ) Type01 V1.11 以前、FDL Type02 V1.00 以前、FDL Type04 V1.04 以前を用いてデータフラッシュを読み出している。または、ライブラリを使用せずに CPU の対象命令^{注2}の組み合わせで対象メモリ^{注3}とデータフラッシュの順で読み出している。

注 1 EEL 使用時は、READ コマンド実行時以外でもデータフラッシュの読み出しをしているため、その他のコマンド実行時も対象となります。

注 2 対象となる読み出し命令には演算も含まれます。詳細は別紙 2 “対象命令一覧”をご参照ください。

注 3 対象メモリは、RAM (汎用レジスタ領域を含む)、SFR、2nd SFR (ウェイト発生レジスタを除く)、ES、CS、PSW、SP となります。

【制限事項内容】

DMA 転送直後に、対象メモリの読み出し (対象命令 1) とデータフラッシュの読み出し (対象命令 2) が連続すると、対象メモリの読み出しとデータフラッシュの読み出しが競合し、対象メモリの読み出し結果が不定になる場合があります。

現象の発生例

⋮

(DMA 転送要因の発生)

(DMA 転送の実行)

MOVW HL, !adder16 ; RAM の読み出し (対象命令 1)

MOV A, [DE] ; データフラッシュの読み出し (対象命令 2)

⋮

上記タイミングで DMA 転送が発生した場合、HL レジスタに不定の値が書き込まれます。

2. 対策

データフラッシュ読み出しと DMA 転送が同時期に動作する可能性がある場合は、データフラッシュの読み出し方法に応じて次の対策を適用してください。

- 1) EEL (EEPROM エミュレーションライブラリ) を利用している場合、または、FDL (データフラッシュライブラリ) を使用してデータフラッシュの値を読み出している場合

現在使用しているライブラリを、以下のバージョンにアップデートしてください。

EEL (Pack01) バージョン V1. 13 以降^注
 FDL (Type01) バージョン V1. 12 以降^注
 FDL (Type02) バージョン V1. 01 以降^注
 FDL (Type04) バージョン V1. 05 以降^注

- 2) EEL (EEPROM エミュレーションライブラリ) および FDL (データフラッシュライブラリ) を使用せず、命令でデータフラッシュの値を読み出している場合

以下のいずれかの対策を実施してください。

(A) DMA の転送保留/強制終了

データフラッシュを読み出す前に、ユーザーズマニュアルの手順に沿って DMA 転送を保留してください。但し、DWAITn ビットに 1 を設定後、データフラッシュの読み出し前までに 3 クロック (f_{CLK}) 以上の間隔をあけてください。データフラッシュの読み出し後に、DWAITn ビットを 0 に設定し転送保留を解除してください。

または、データフラッシュを読み出す前に、ユーザーズマニュアルの手順に沿って DMA の転送を強制終了してください。DMA 転送の再開はデータフラッシュ読み出し後に行ってください。

(B) ライブラリを使用してデータフラッシュを読み出す

1) のアップデートされた FDL (データフラッシュライブラリ) を使用してデータフラッシュを読み出してください。

(C) NOP の挿入

データフラッシュの読み出し命令の直前に NOP 命令を挿入してください。

対策適用例：

```
MOVW    HL, !addr16    ; RAM の読み出し
NOP                      ; データフラッシュのリード前に NOP 命令を挿入
MOV     A, [DE]         ; データフラッシュの読み出し
```

但し、C 言語などの高級言語を使用している場合、1 コードに対してコンパイラが制限事項の対象となる 2 命令を生成する場合があります。この場合、NOP 命令を挿入する対策を実施することは非常に困難なため、対策 (A) または対策 (B) を実施して読み出す事を推奨します。

注. EEL (EEPROM エミュレーションライブラリ)、FDL (データフラッシュライブラリ) の対策済みバージョンは、2013 年 7 月末以降に順次公開予定です。

備考. f_{CLK} : CPU/周辺ハードウェア・クロック周波数

3. 改善計画

本件は制限事項とさせていただきます。次回ユーザーズマニュアル改版時に第 26 章フラッシュ・メモリ
“データ・フラッシュへのアクセス手順”に前記対策を記載致します。

4. 制限事項一覧

項目	内容	製品
		RL78/G1C 全製品 R5F10JxxA, R5F10JxxG, R5F10KxxA, R5F10KxxG (詳細の品名については別紙 1 制限事項対象製品 品名一覧を参照)
1	データフラッシュ機能読み出し制限事項	×

備考) 各記号はそれぞれ下記の意味を示します。

－：制限事項対象外

×：制限事項対象

5. 発行文書履歴

RL78/G1C 制限事項 発行文書履歴

文書番号	発行日	記事
TN-RL*-A014A/J	2013 年 8 月 19 日	初版発行 制限事項一覧の項目 1 (本通知です。)

以上

【別紙 1－1】

【制限事項対象製品 品名一覧】

RL78/G1C

32 ピン LQFP 7x7mm	R5F10JBCAFP, R5F10KBCAFP R5F10JBCGFP, R5F10KBCGFP
32 ピン HWQFN 5x5mm	R5F10JBCANA, R5F10KBCANA R5F10JBCGNA, R5F10KBCGNA
48 ピン LFQFP 7x7mm	R5F10JGCAFB, R5F10KGCAFB R5F10JGCGFB, R5F10KGCGFB
48 ピン HWQFN 7x7mm	R5F10JGCANA, R5F10KGCANA R5F10JGCGNA, R5F10KGCGNA

【別紙 2－1】

【対象命令一覧】

“対象命令 1” で対象メモリを読み出し、次の“対象命令 2” でデータフラッシュを読み出した場合、制限事項の対象となります。但し、別紙 2-2 で示される特定の命令の組み合わせでは制限事項は発生しません。

対象命令 1 RAM(汎用レジスタ領域を含む)、SFR、2nd SFR(ウェイト発生レジスタを除く)、ES、CS、PSW、SP の読み出し命令
(2nd SFR のウェイト発生レジスタ、ミラー領域、データフラッシュの読み出しは対象となりません。)

命令	オペランド	命令	オペランド	命令	オペランド	命令	オペランド	命令	オペランド
MOV	A, saddr	ADDC	A, saddr	XOR	A, saddr	MOV	ES, saddr	MOV1	CY, saddr.bit
	A, sfr		A, !addr16		A, !addr16		B, saddr		CY, sfr.bit
	A, !addr16		A, [HL]		A, [HL]		B, !addr16		CY, PSW.bit
	A, PSW		A, [HL+byte]		A, [HL+byte]		C, saddr		CY, [HL].bit
	A, ES		A, [HL+B]		A, [HL+B]		C, !addr16	AND1	CY, saddr.bit
	A, CS		A, [HL+C]		A, [HL+C]		X, saddr		CY, sfr.bit
	A, [DE]	SUB	A, saddr	CMP	A, saddr		X, !addr16		CY, PSW.bit
	A, [DE+byte]		A, !addr16		A, !addr16	MOVW	BC, saddrp		CY, [HL].bit
	A, [HL]		A, [HL]		A, [HL]		BC, !addr16	OR1	CY, saddr.bit
	A, [HL+byte]		A, [HL+byte]		A, [HL+byte]		DE, saddrp		CY, sfr.bit
	A, [HL+B]		A, [HL+B]		A, [HL+B]		DE, !addr16		CY, PSW.bit
	A, [HL+C]		A, [HL+C]		A, [HL+C]		HL, saddrp		CY, [HL].bit
	A, word[B]	SUBC	A, saddr	ADDW	AX, saddrp		HL, !addr16	XOR1	CY, saddr.bit
	A, word[C]		A, !addr16		AX, !addr16		BC, SP		CY, sfr.bit
	A, word[BC]		A, [HL]		AX, [HL+byte]		DE, SP		CY, PSW.bit
	A, [SP+byte]		A, [HL+byte]		AX, !addr16		HL, SP		CY, [HL].bit
			A, [HL+B]	SUBW	AX, saddrp				
MOVW	AX, saddrp	AND	A, saddr		AX, !addr16	CMP	saddr, #byte	POP	rp
	AX, sfrp		A, !addr16		AX, [HL+byte]		!addr16, #byte		
	AX, !addr16		A, [HL]		AX, !addr16		!addr16		
	AX, [DE]		A, [HL+byte]	CMPW	AX, saddrp	CMP0			
	AX, [DE+byte]		A, [HL+B]		AX, !addr16				
	AX, [HL]		A, [HL+C]		AX, [HL+byte]				
	AX, [HL+byte]	OR	A, saddr		MOVW	AX, SP	CMPS	X, [HL+byte]	
	AX, word[B]		A, !addr16						
	AX, word[C]		A, [HL]						
	AX, word[BC]		A, [HL+byte]						
	AX, [SP+byte]		A, [HL+B]						
ADD	A, saddr		A, [HL+C]						
	A, !addr16								
	A, [HL]								
	A, [HL+byte]								
	A, [HL+B]								
	A, [HL+C]								

対象命令 2 データフラッシュの読み出し命令

命令	オペランド	命令	オペランド	命令	オペランド	命令	オペランド
MOV	A, !addr16	ADD	A, !addr16	AND	A, !addr16	MOV	B, !addr16
	A, [DE]		A, [HL]		A, [HL]		C, !addr16
	A, [DE+byte]		A, [HL+byte]		A, [HL+byte]		X, !addr16
	A, [HL]		A, [HL+B]		A, [HL+B]	CMP	!addr16, #byte
	A, [HL+byte]		A, [HL+C]		A, [HL+C]		!addr16
	A, [HL+B]	ADDC	A, !addr16	OR	A, !addr16	CMP0	
	A, [HL+C]		A, [HL]		A, [HL]		
	A, word[B]		A, [HL+byte]		A, [HL+byte]		
	A, word[C]		A, [HL+B]		A, [HL+B]	CMPS	X, [HL+byte]
	A, word[BC]		A, [HL+C]		A, [HL+C]		
		SUB	A, !addr16	XOR	A, !addr16		
			A, [HL]		A, [HL]		
			A, [HL+byte]		A, [HL+byte]		
			A, [HL+B]		A, [HL+B]		
			A, [HL+C]		A, [HL+C]		
		SUBC	A, !addr16	CMP	A, !addr16		
			A, [HL]		A, [HL]		
			A, [HL+byte]		A, [HL+byte]		
			A, [HL+B]		A, [HL+B]		
			A, [HL+C]		A, [HL+C]		

制限事項が発生しない命令の組み合わせ①

制限事項が発生しない命令の組み合わせ②

制限事項が発生しない命令の組み合わせ③

制限事項が発生しない命令の組み合わせ④

制限事項が発生しない命令の組み合わせ⑤

